

仕事のやりがい

やっぱり「ありがとう」「相談してよかった」と言ってもらえることがうれしいですね。一生懸命作った眼鏡でお客さまの「見えない」悩みを解決して、感謝された時にやりがいを感じます。

眼鏡作製技能士って？

眼鏡を仕立てるエキスパートです。眼鏡を加工する技術はもちろん、眼鏡の種類や特徴、人の目の見え方まで、眼鏡についての幅広い知識を持っています。眼鏡屋さんたちの中でただ一つの国家資格で、もともとは「認定眼鏡士」という名前で呼ばれていました。



眼鏡作製技能士

どんな仕事をしているの？

カウンセリングから視力の測定、レンズやフレームの加工、販売、フィッティング、アフターケアなどを行っています。「運転するのに遠くのものが見えない」「本の字が見にくい」など、見え方の状態は人それぞれです。眼鏡を使う目的や要望を聞き、見え方を調べ、専門知識を生かしてお客さま一人一人に合った眼鏡を作っています。

橋本 貴憲 さん
下関市出身

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

見えなくて困っている人を助けてあげたい

眼鏡を使っている人でも、「なんだか疲れる」「頭が痛い」「フレームがずれる」など悩みはさまざまです。

料理に例えると、「うす味が好き」「ピーマンがダメ」「アレルギーがあって」となど、いろんな要望があると思います。それに合わせて、食材や調理方法を選んで料理を作ることです。「おいしい」と言ってもらえますよね。

眼鏡も同じです。お客さまの悩みや要望を聞くことはもちろん、どう見えているのか、どんな時に眼鏡を使うのか、どんなフレームが似合うのかなどを全部考えます。お客さまの悩みを解決してあげられるように、私は、自分がお客さまになったつもりで眼鏡を作るようにしています。

知ってほしい！眼鏡作製技能士のこと

私は専門学校で勉強しましたが、眼鏡屋さんで働きながら資格を取得する人もいます。まだあまり知られていない資格ですが、眼鏡のことなら何でも安心して相談できる専門家がいることを知ってもらえたらうれしいです。



知識と経験を基にした高い技術力で眼鏡を仕立てます。



お客さまが何を求めているのか、丁寧に話を聞きます。

